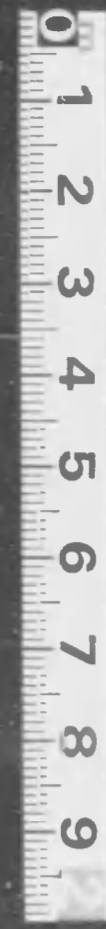


寫眞週報

內閣情報部編輯
十一月廿二日・第十九號・十七

昭和十三年二月二日 第三編者編輯部 昭和十四年十一月廿二日發行 編輯部編輯部

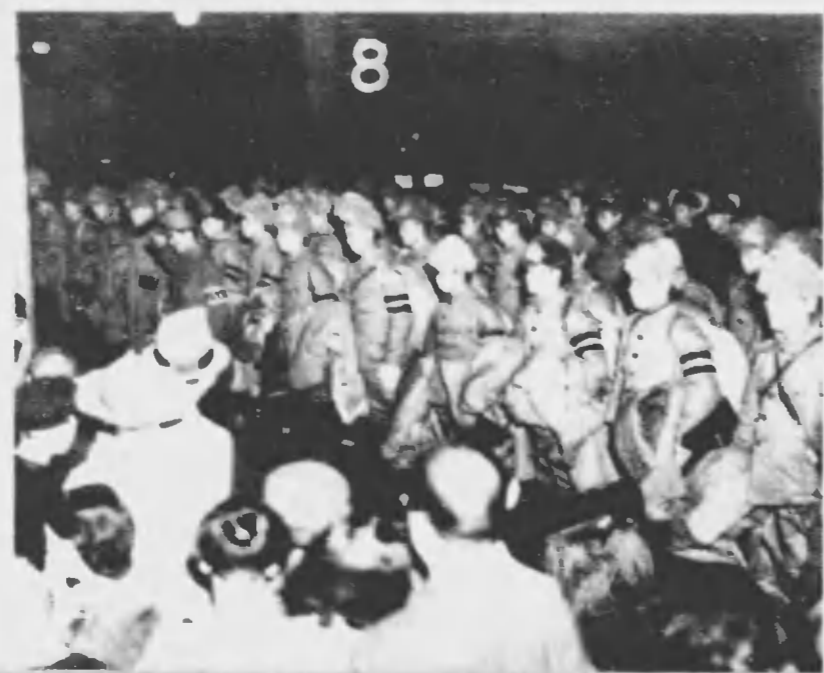


君を待つに帰る

満蒙開拓青少年義勇軍現地報告隊



陸軍大臣官舎に加藤相を訪問、大臣の激励を受ける満蒙開拓青少年義勇軍現地報告隊



上野駅に着いた報告隊は出迎への加藤内閣副総長等関係者に「たい今現地の報告に歸りました」と元気よく挨拶を交した。

満蒙三萬餘の開拓青少年義勇軍を代表して四十七名の現地報告隊が歸つて来た。滿洲に歸るの士として入植満一ヶ年、その間身をもつて経験した蒙土滿洲の真の姿を、抱負を、内地に報告しようとして歸つて来たのである。十一月十二日上野駅に歸った報告隊一行は防犯具に身をかわため、故郷へのお土産に彫らんだリ、マタヤクを背負ひ、はち切れる元氣に帝都への一歩を印した。顔は赤く、手は縮れだつて大地と取り組んだ一年間の現地生活に身も心も見違へるやうに逞しくなつてゐる。

十二日、日本青年館に内地の夢を結んだ一行は十三日早朝から明治神宮に歸還再始を行い、靖國神社に歸つて護國の英靈に敬虔な黙禱を捧げ、續いて義勇軍旗を先頭に二重橋前にいたり宮城を地舞、更に一般の奮闘を誓つた。

次いで拓務省に金光拓務大臣、陸相官舎に加藤軍大臣を訪問、歸還の挨拶を述べる等在京の報告を終へ、十五日、四十七名の報告隊は歸還の使命を果たすため、二人一組となつて一連三府四十三縣に各々出發、現地の報告を行い、「後続部隊も續々入植せよ」と若人の叫びを上げることゝなつた。

撮影 内閣情報部

風邪ひきやすい子供が
風邪ひかぬ強い子供にすま

理研の
純ウイタミンA・D 栄養劑



婦人小供用

小粒でのよみ

理研ウイタミン

ぞなつ語にへ迎を等君

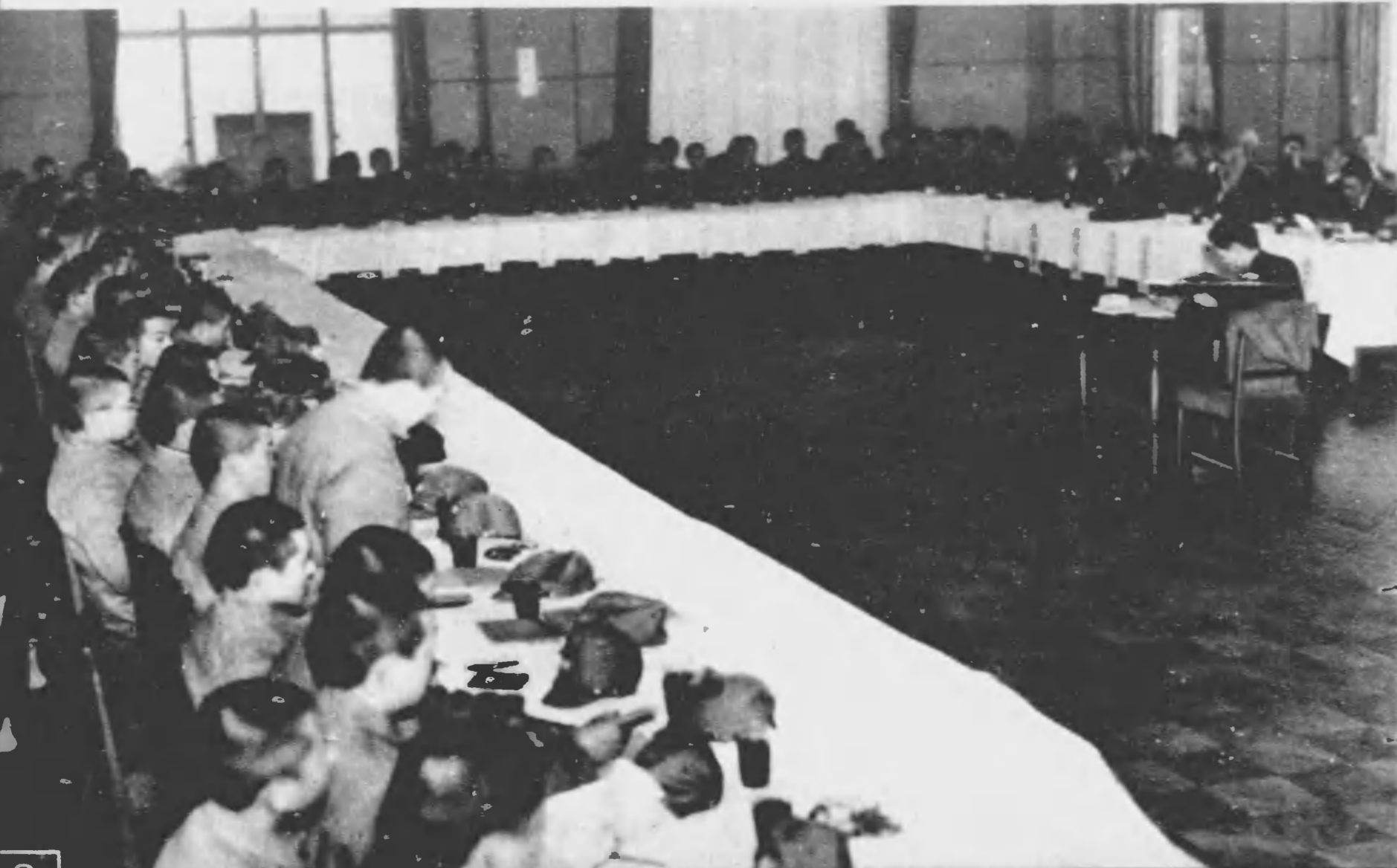


楽しい一日の作業

伊達 甲斐小園所

太陽が東の丘に昇る。その時が吾々の起床である。朝日と共に床を上げて朝の行事の準備をする。柔らかな朝の光を受け、「君が代」の斉唱と共に日滿國旗が殿かたのぼり輝きを三喝する。そして希望に輝く楽しい一日が展開される。作業制によつてその日の作業は異なるが、楽しいことは大いにも、数百圓の福半をつれて果しなき軍服を通み、赤い夕日がゆるやかな丘陵

に落ちかゝるときに降る一日の作業や、また二人で四頭馬を操つて農女地を耕し、黒つばい大地にいろ／＼な種子を撒ける作業である。又東北方面では一日々々の手入れで伸びて行く西瓜を眺め、飯を振るときである。そして夕日に向つて種子をまきたのち、各目の思ひを語り合ふと一日の勞苦が何處となく消えて煙火の下で學習資料を閉くのである。消燈の鐘が鳴つて皆一睡に床をのべ希望に燃えた夢路に入るのである。かうして楽しい希望に満ちた一日々々が繰返されるのである。



全編で行ふ現地報告の要領について一行は十四日東京の法曹會館で打合せを行つた



マイクを通じ内地で現地報告の第一聲を上げた三代表 J.O.A.K.にて
右から 横濱(四郎)北海道(官野)正男
(若手) 戸川 邦雄(鳥取)の三君



日本青年館に訓練服を脱いだ一行は早速郷里へ、なつかしい便りを書くのに忙しい
「土の戦士」として大陸に骨を埋める覚悟を更めて宮城前に留つた報告隊は足どりも軽く拓務者へ向ふ

五族協和、日滿親善に就いて

三江市神田中興實業大林訓練所

大林訓練所は第二次開拓隊の西方十六軒の地點に位し垣々たる大平野の真中にわれわれの宿舍、白壁の殿堂が肅然と立ち並んでおります。訓練所の周囲には、張海屯、北大林子、南大林子の部落があります。われわれはこれ等部落の満人に對し、共に手をつないで新東亞建設の爲めに大いに奮闘しようといふ日滿協和の精神を持つて接してゐます。
そして最早八年前に第二次千歳開拓隊が入り、長い間滿人に接してをつた開拓上、滿人はわれわれ日本人に對して非常な親しみを持つてゐるのであります。
その例は、まゝあります。
先づ第一にわれわれが大林訓練所に入所する時には、滿人等は部落の門前に整列し、日軍旗をかざし、最敬礼をして歓迎してくれたのであります。
この時、私は、これでは日滿親善は餘りむづかしいことではないと痛感しました。
また農閑期などにわれわれが滿人の部落に行き、或は訓練所に滿人たちを迎へて教鞭を教へることがあります。そして運動會とか祝祭日等に滿人を招待すれば、また滿人の備しがあるときはわれわれを無をもつて歓迎してくれるのであります。そして滿人は日本人を絶対に信用し、滿人の方から日滿親善、五族協和等を叫びながらわれわれに接して來ます。
このやうに滿洲では日本人、滿洲人が限らず擁つて新滿洲の建設のため全力を盡してをります。こゝで私はわれわれのモットーとしてある五族協和といふことが非常に近い將來に實現できると確信したのであります。

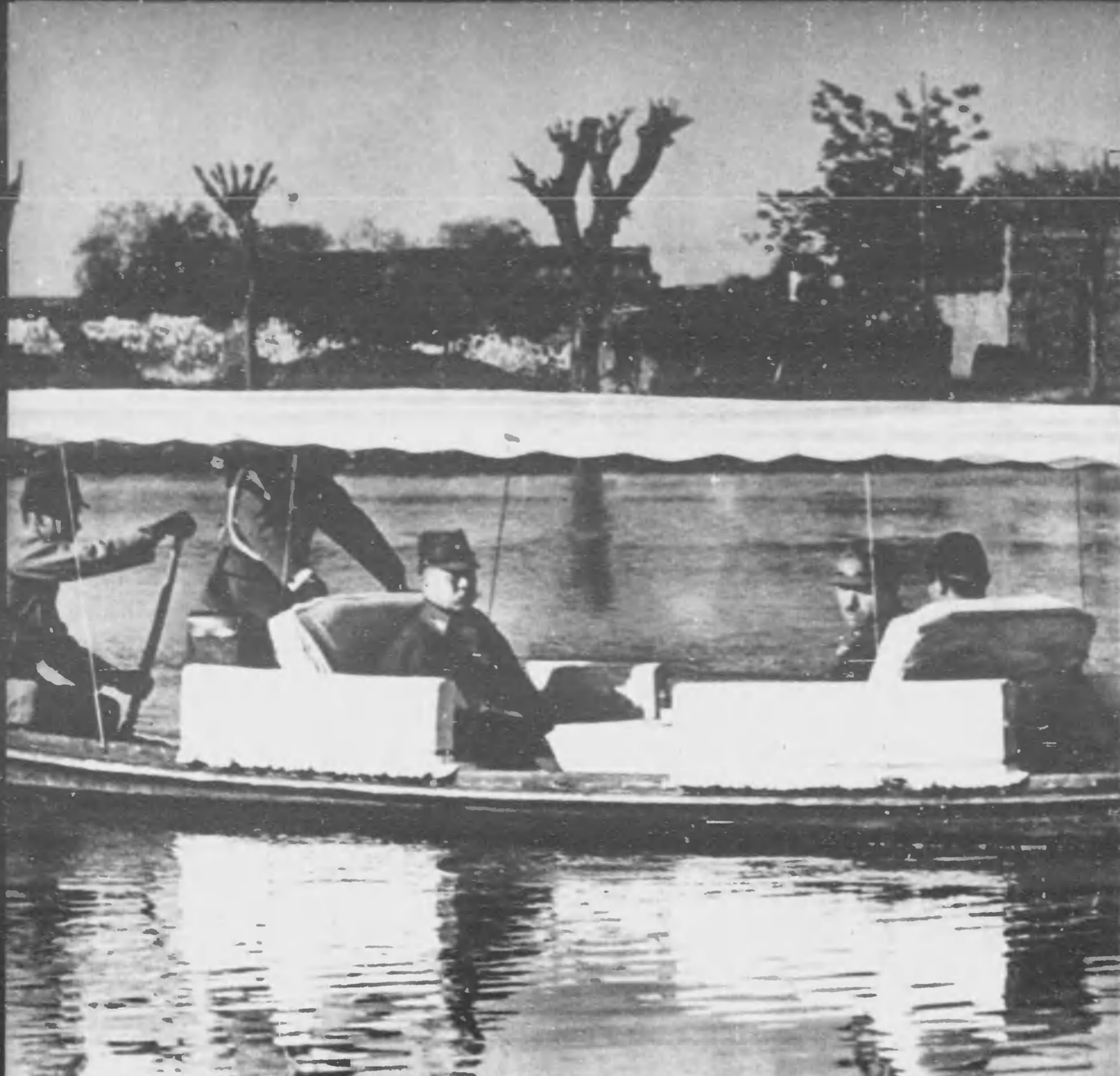
下殿宮長總謀參す拜に支中



開院參謀長官殿下には、支那派
軍艦司令官新設に際し、親しく支
那派軍艦司令官のため、十月廿九日
から約十日間、中支各方面を御訪問
遊ばされ、十一月十二日、御参りな
く、御参遊ばされた。
十月廿九日、上海御上陸、上海、
杭州、蘇州の各都府御参遊ばされた
は、十一月三日、明治の佳節に當つ
ては南京に西尾總司令官、板垣總参
謀長以下、將校を召され、
天皇陛下、より特に前線將兵に賜は
つた優渥なる御賞を御参遊ばされ
た。將兵一同は、皇恩の有難さを
感泣するとともに、參謀長官殿下を
直接事變地に迎へ奉りその志氣愈々
あがり粉砕碎身、身を以て皇國の目
的貫徹に邁進すべきことを誓つたの
である。

↑ 軍艦〇〇の後甲板から上海共同租界を御参遊ばされる殿下(中央、御参席)

↓ 上海陸軍病院に親しく傷病兵を御見舞遊ばされた



蘇州に泰山寺を御訪問、唐の詩人張繼の有名な詩碑の前に立たせ給ふ

↑ 杭州に御立寄り、西湖の秋色を賞みさせ給ふ

□ 杭州の古蹟、忠臣岳飛の廟を御訪問

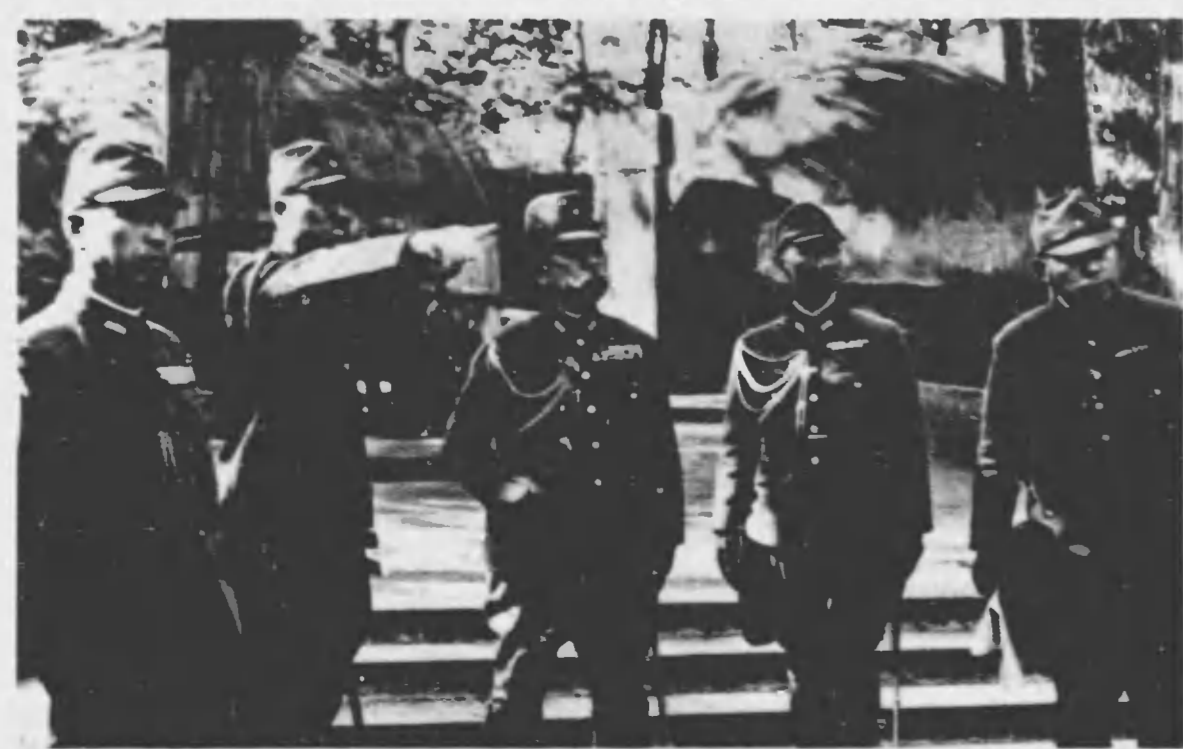


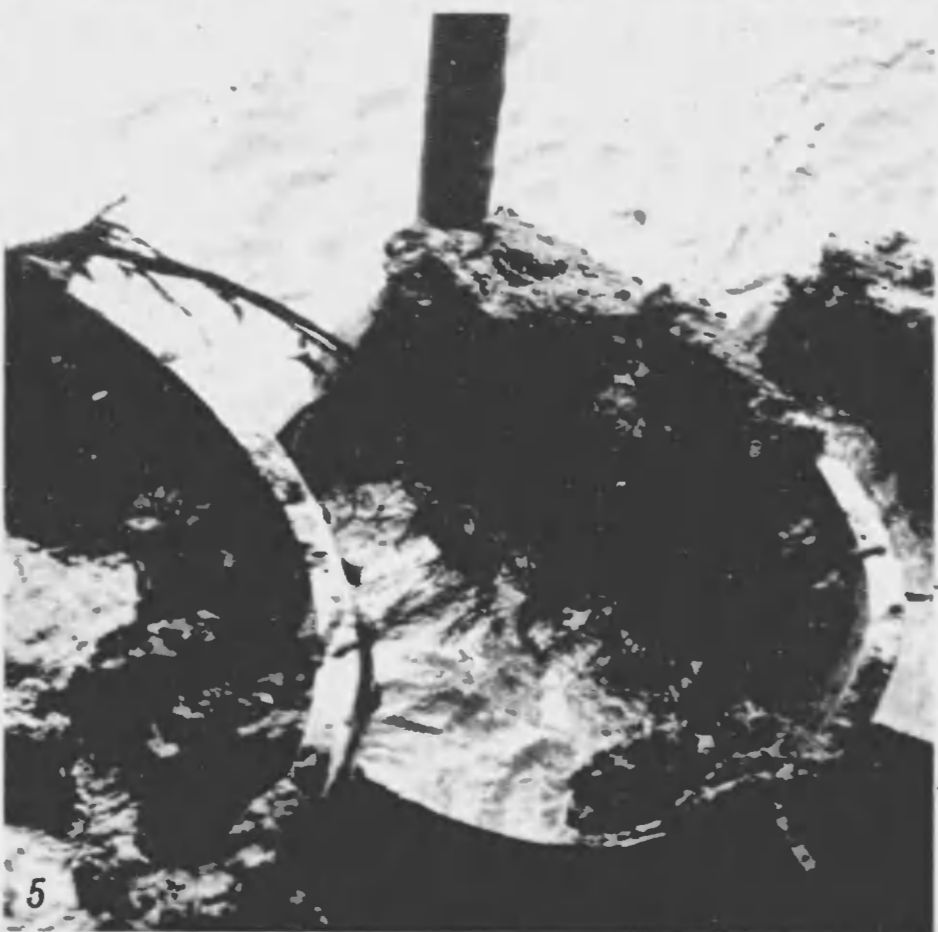
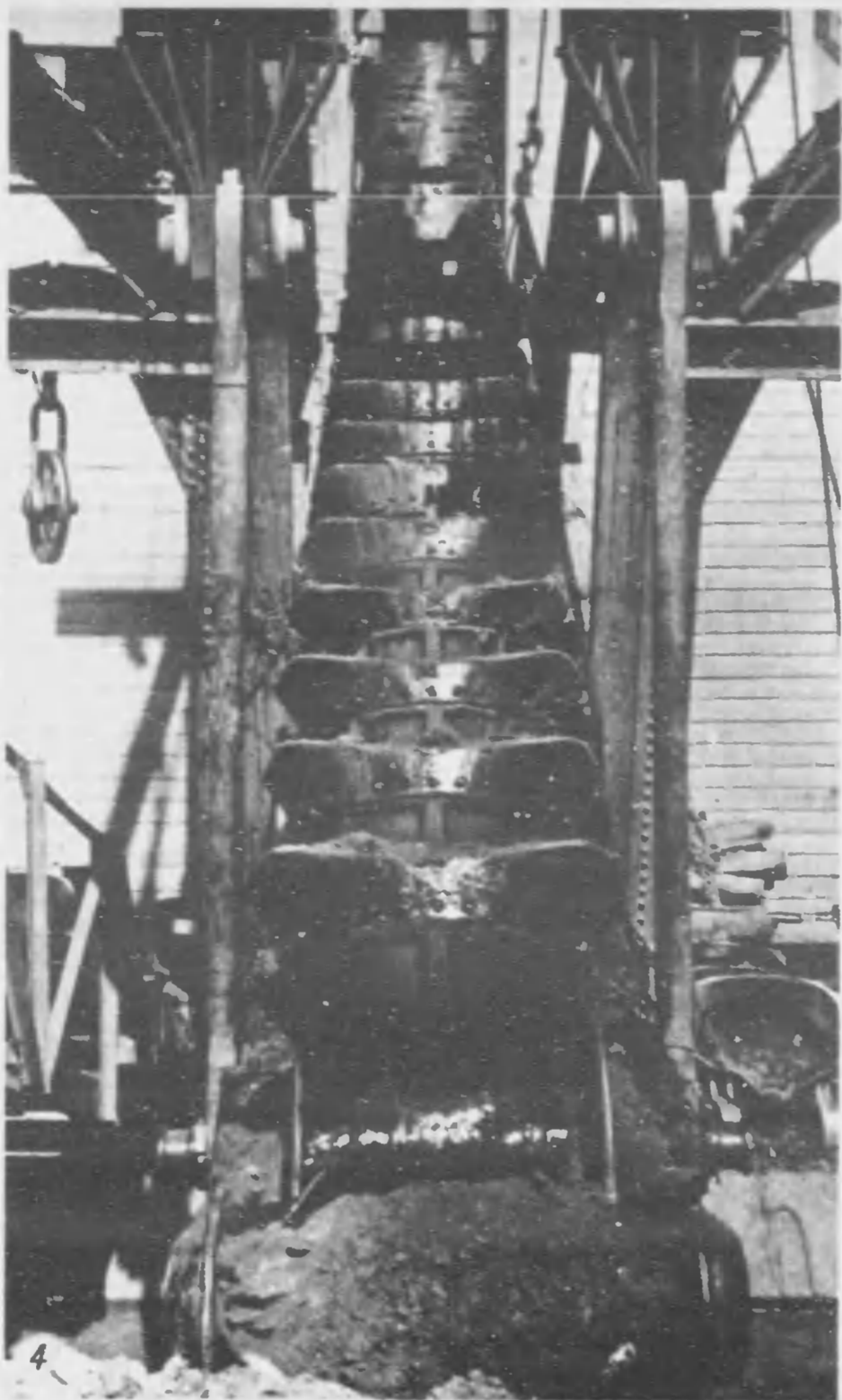
写真 上海プレス・ユニオン

北満の黄金の大地



撮影 佐藤弘一

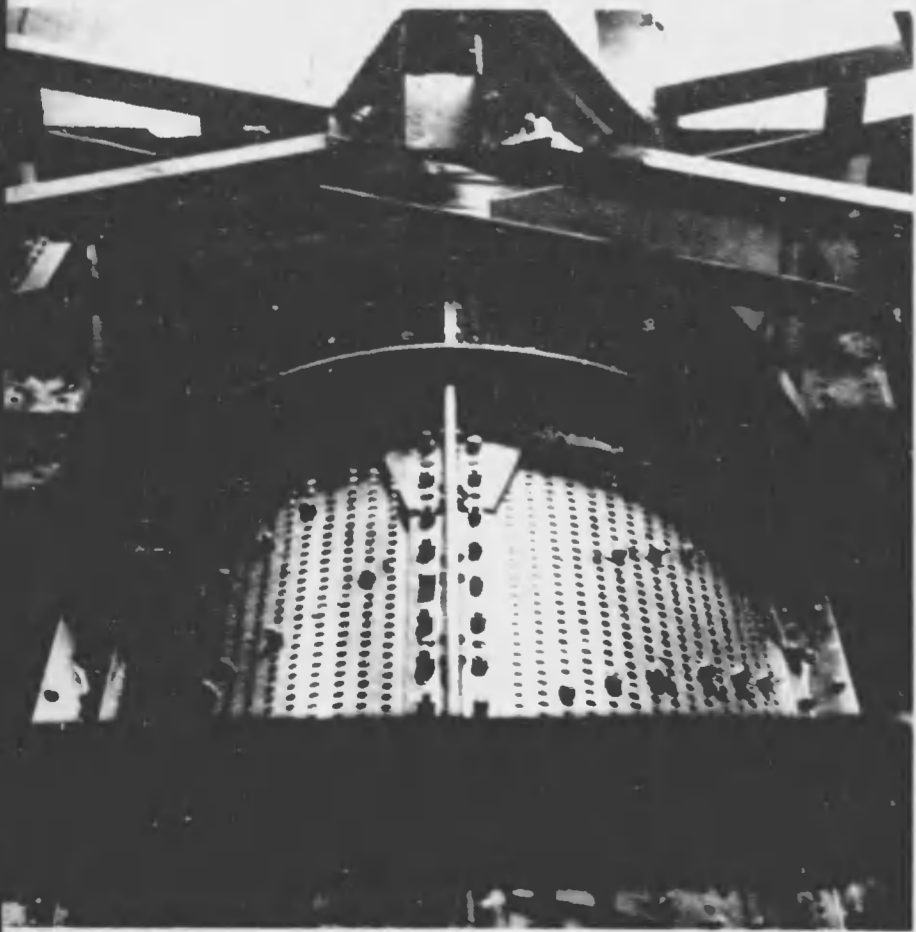
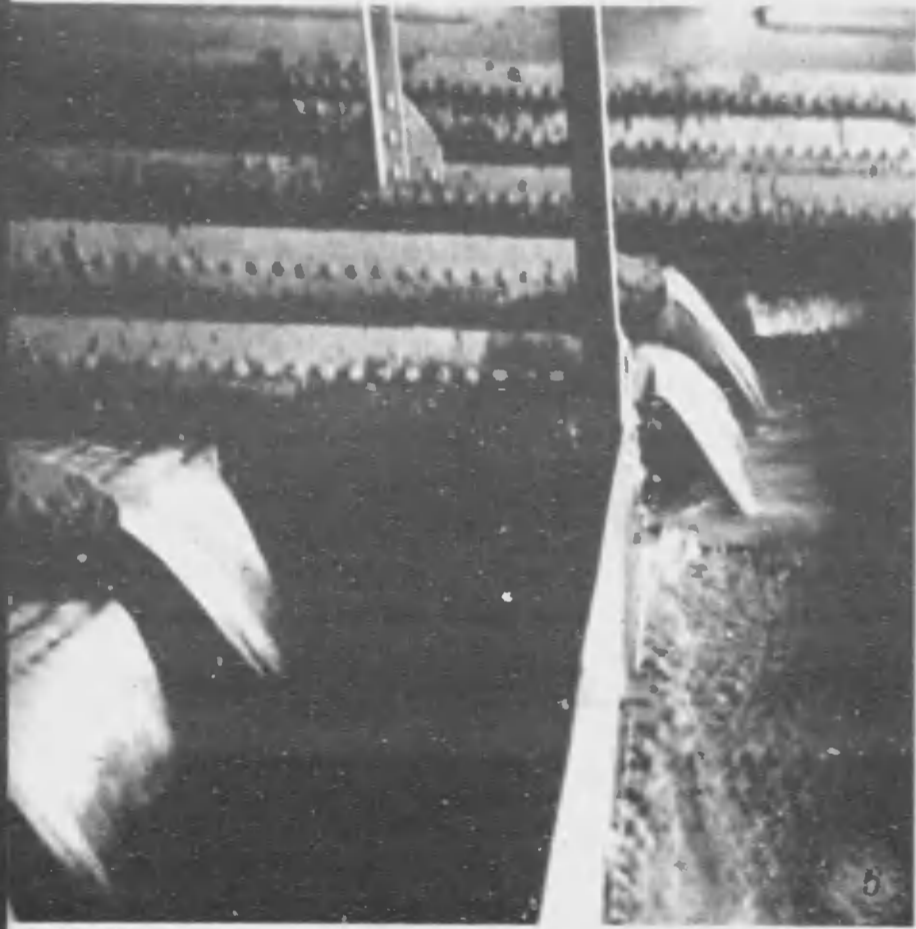
- 1 黒龍江をへたて、鴨緑江に近い砂金採取地帯は、めくらさされた木柵にいくらかのロシア調のこのる
- 2 金探検隊員の名も知らぬ野草の厚の中から繁盛の目がひかりつづける
- 3 ドレッシング機をもつ採金船
- 4 採金船に装備されたコンクリートのバケツ。このバケツに砂金を含有した河床の泥土が次々と汲みあげられる
- 5 バケツの泥土は溜溜装置にかけられる
- 6 溜溜装置にかけられる泥土は、やはり採金船の中に仕掛けられた分解機に送られる

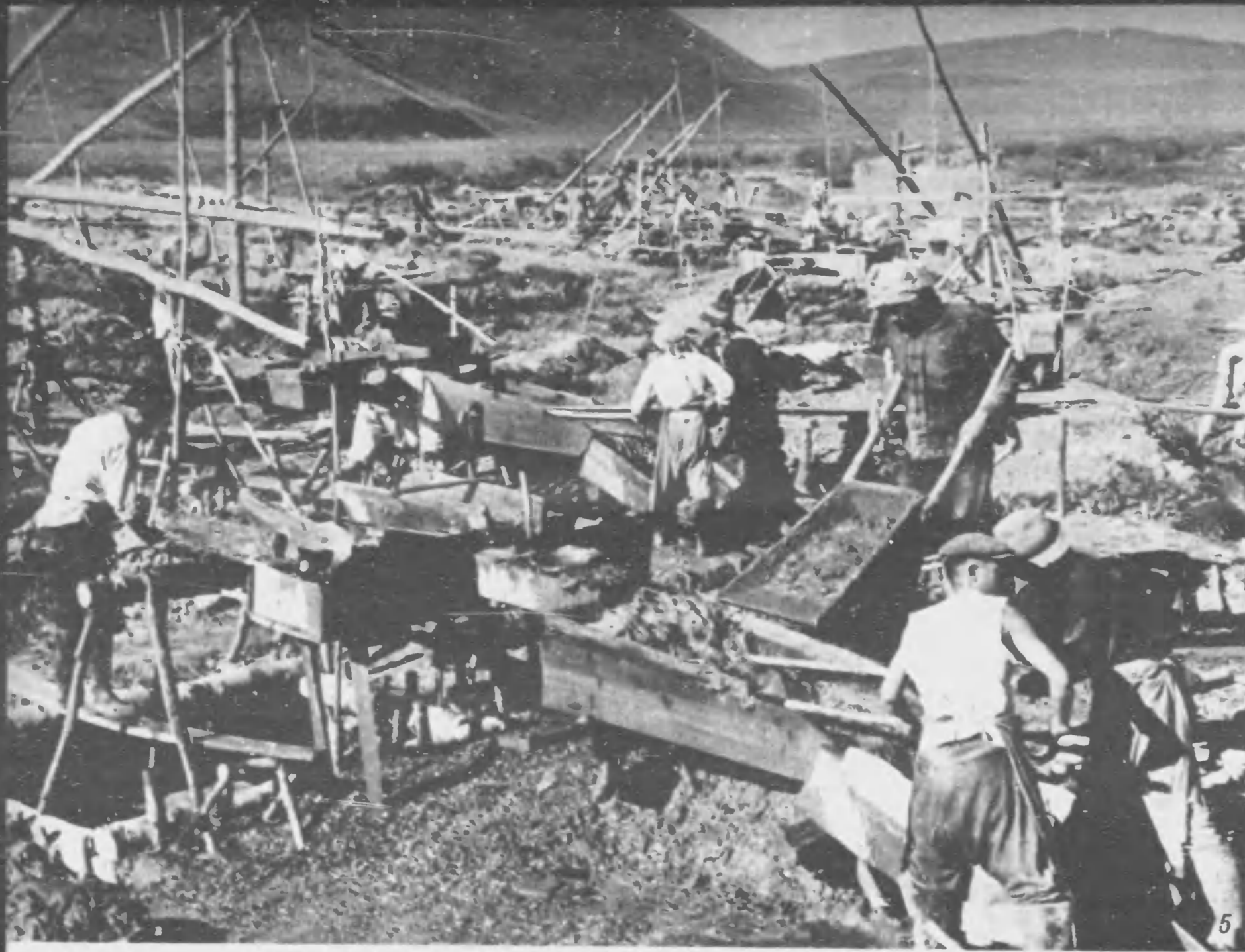


満洲の砂金

對滿事務局

北満洲は古くから豊富な金産地として知られ、相當の産出をみた記録があつて、殊にロシア人及びいはゆる金匪等による盗掘は莫大な額に上るといはれてゐた。例へば漢河、呼瑪河及松花江の流域や嫩江の上流地方は砂金地として曾ては年額三千萬圓を超える産金をみたこともあり、ゴールドラッシュの舞臺であつた。中にも漢河地方には今から七十年前前ロシア人の探検者の一隊が砂金産地を發見し、遂には一萬數千に及ぶ露支人鑛夫の群が蜂集して支那とロシアとの行政權下をそれ／＼脱し、彼等自身のエルツガ共和国を建て、一種の共產社會を営ん





5

地大の金黄は満北



7

6

- 1 ドレヅジャーの大仕掛な採金砂案と並行して昔ながらの手掘りによる採金作業も満洲一帯にひろく行はれ、幾千幾萬の日鮮満人がこれに従事してゐる。
- 2 手掘現場の手押車を動かす満人苦力。
- 3 4 流水法による採取場。
- 5 これだけの規模、これだけの設備で驚々と作業はすゝめられる。手掘現場の全景。
- 6 含金砂を篩袋にのせて水洗する。
- 7 篩袋に洗はれ、その底に附着したまばゆいばかりの砂金粒。

だのであつたが、幾何もなくして清朝の李鴻章によつてその地を逐はれ、エルツガ・ユートピアの終焉をみたといふ夢物語もある。しかしその後は官民共に一向に探鑛に意を用ひず、その上匪賊の跋扈、投資の不安、採金方法の幼稚、經營の拙劣等の諸原因もあつて、産出額は著しく減少してゐた。

昭和九年、滿洲國が生誕すると共に邊境の治安が漸次整備され、これに伴つて大規模の調査が相次いで進められた結果、國防上及び經濟上の諸見地から砂金の急速且統制ある探鑛が要望されるやうになり、特殊会社たる滿洲採金会社が創立された。こゝに、はじめて滿洲の産金は巨歩をふみだし、従前の不振状況は急速に改善され金産額は年を逐つて増加した。即ちこの採金会社の設立以來の産金額は昭和九年・五十四萬圓、昭和十年三百六十七萬圓、昭和十一年一千二百萬圓となつてゐる。なほ、採金会社の外に昨年滿洲重工業會社の子會社である滿洲鑛山會社が設立され、一部金床を採金會社から譲り受けてこれを掘つてゐる。

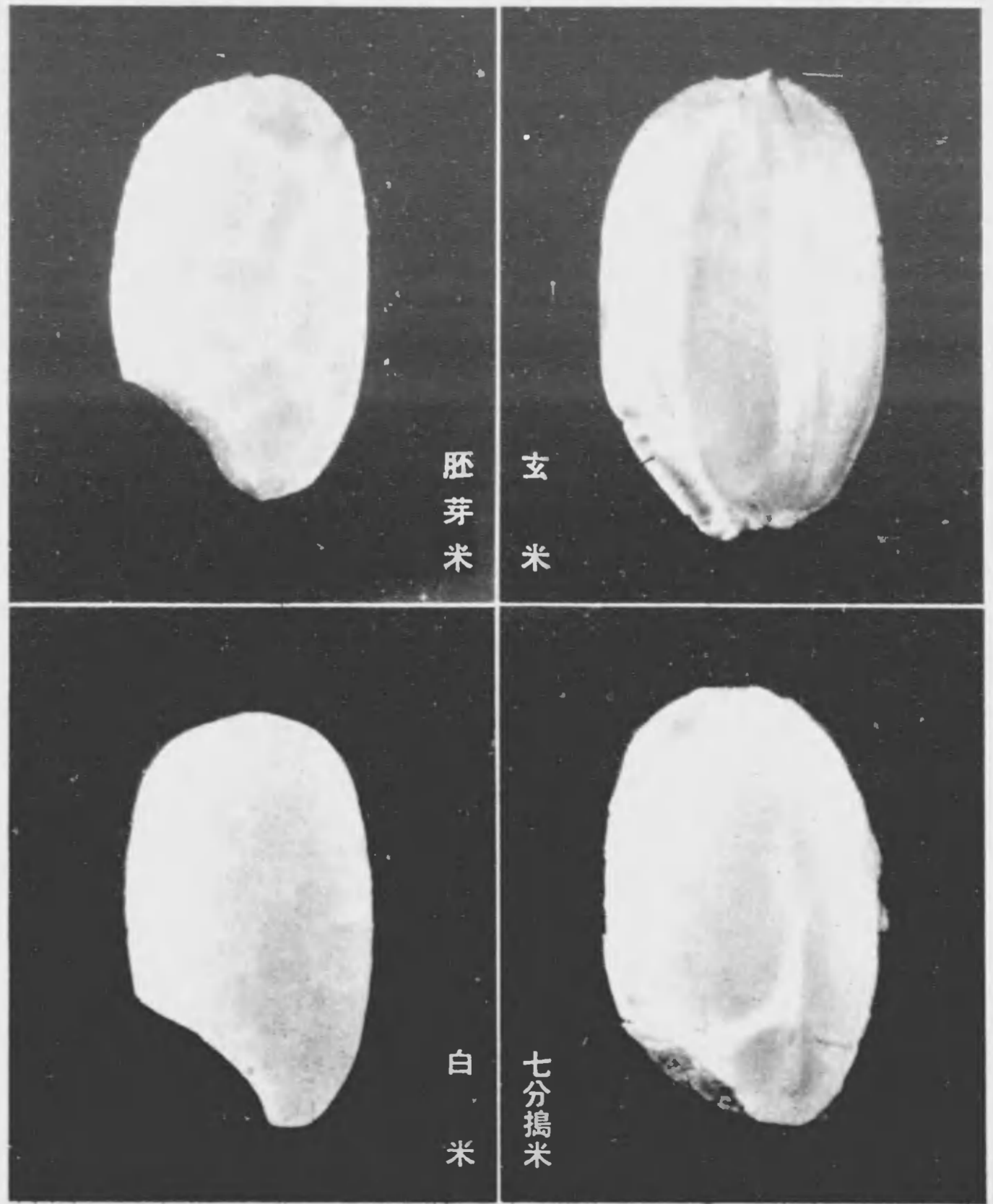
滿洲の砂金埋蔵量は實に五十億圓といはれてゐるが、現在の産金状態は未だ低調なもので、採金會社では探鑛調査の進捗、採金設備増設又は手掘法改良による技術の改善、經營の合理化等につとめてゐる。滿洲國政府でも鋭意鑛區の整理及び治安交通の整備を圖り、且五ヶ年計畫による大増産を期してゐる。

主要産金地としては黒龍江地方では興安北省の三河(庫克多博)、吉拉林及奇乾、黒河省の漢河、呼瑪及愛琿、松花江沿岸では三江省三姓(依蘭)、大平房及び梧桐區域並びに嫩江上流北安龍江省内諸地方等が擧げられるが、探鑛進捗に伴つて現在では更に有望な砂金地帯が續々發見確認されてをり、時局下特に意義深く東亞新秩序建設に力強い一役を買つてゐるのである。





国立栄養研究所の研究室の一部



お米の科 學

事第三年を迎へたわが國はたゞ中国地方を中心とする四日木及び玄海灘をへだてた朝鮮の中南部方面の大旱魃で米の收穫は減少したが昭和十五年穀年度のわが國給米にはさしたる不足は來たしませんでした。しかし政府はいま穀時食糧充實のため外米の輸入や酒造米の減少、國民の七分搗米主食等による節米によつて萬全の対策をたててゐます。

實際長期戦下にあるわが國は國際的地位や地理的な環境又は農業上の習性からいつても米の平均生産力といふものをアチにして將來

の供給をよつてゆくことは非常に危険なことです。

この意味で今後は積極的に米の増産を圖る一方、消極的には國民の節米、七分搗米主食、等によつてどんなことがあつても國民の食糧に不足をきたさないようにしなければなりません。

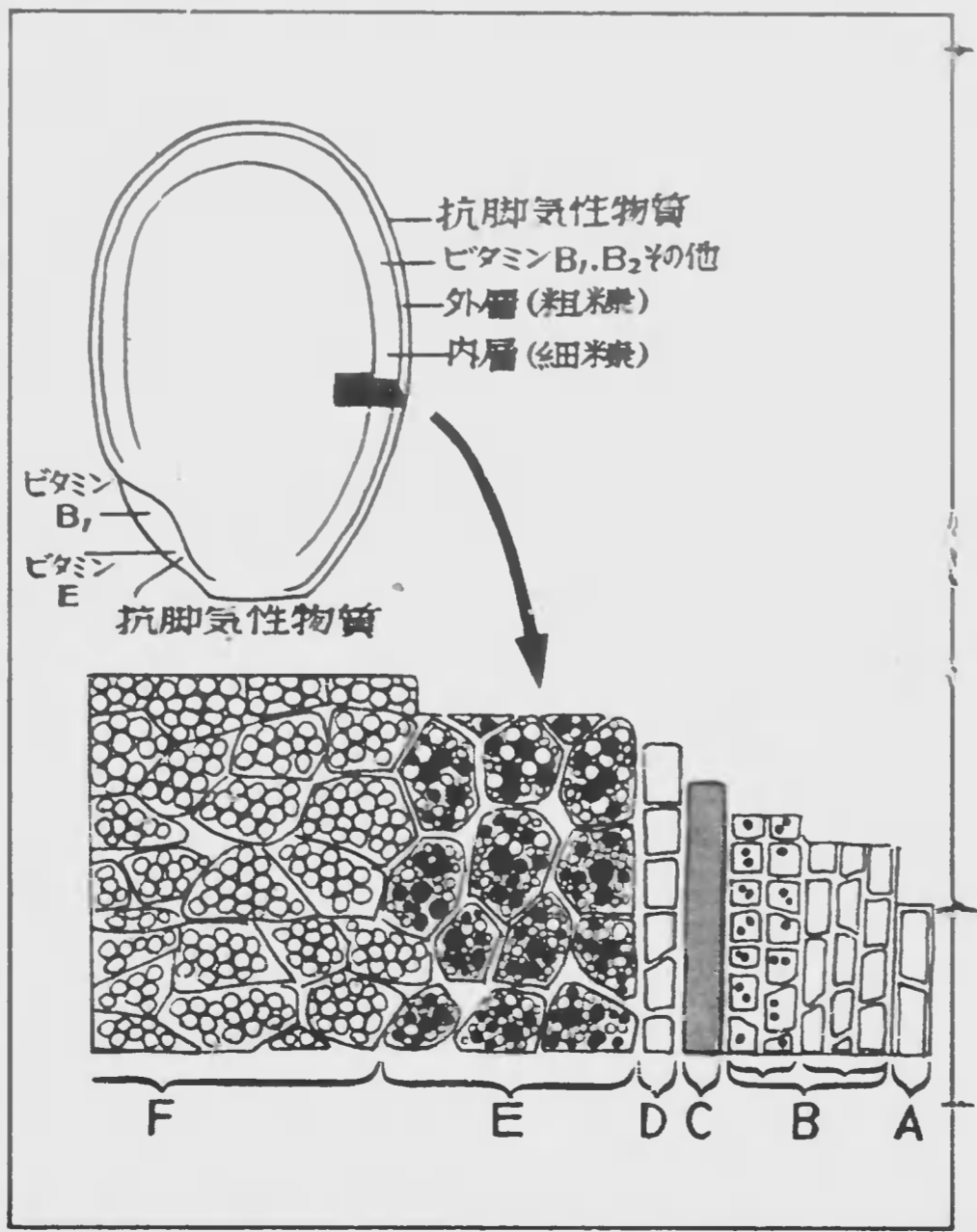
今問題になつてゐる國民主食糧としての七分搗米使用はかうした目的によつて考へられてゐるものであります。そこで白のお米から黒いお米へ一大幅換しようとしてゐる七分搗米の正確はどんなものであるか国立栄養研究所に尋ねてみます。

七分搗米とその他の米とはどうして見分けるか、国立栄養研究所の規格検査方法はカール・ホルツァン液による染色でできてゐます。この方法を玄米、白米、七分搗米に用ひると高眞のやうに玄米は全體紅く、白米は脱色して白く、七分搗米は三分が紅く、七分が薄紅色に染り簡単に識別がつかます。

玄米は大別すると外層(粗糠)と胚乳部の三部分からなつてゐますが、その断面を細かくみるとA外果皮、B中果皮C内果皮、D種皮、E胚乳部、F胚乳部の六層から出來上つてゐます。

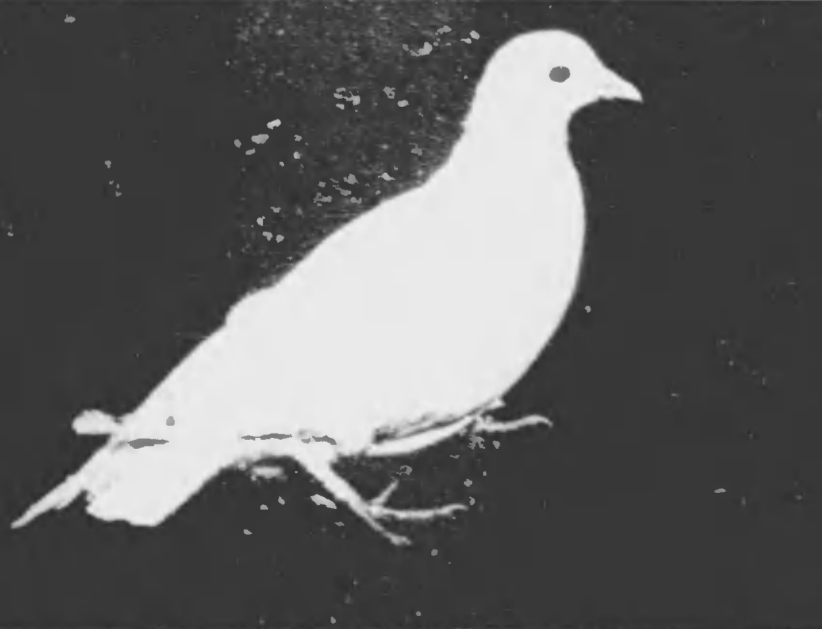
そして外層に當る部分はAからDまで、この部分には纖維素、抗ビタミン性物質を含んでゐて普通胚乳として捨て棄てるところです。内層に當る部分はEでこゝは所謂胚乳部といはれ蛋白質、脂肪、ビタミンB(抗脚氣性物質)、Eを含んでゐます。白米はFの部分で主として澱粉に富んでゐます。

こゝで國民の主食米とならうとしてゐる七分搗米はDの部分まで搗粉して、いままで白米のとき搗き棄ててゐたEの部分を除き蛋白質、脂肪、ビタミン、無機質等の養分を採取しようといふわけです。従つて白米よりは遙かに栄養價に富んでゐる上、搗きべりも少なく國家的な節米といふことになりま



撮影 仙波 廉

ビタミンBが缺乏すると脚氣にかゝります。脚氣は一名白米病と呼ばれるやうに白米には殆どビタミンBが失はれてゐます。いま白米だけで糧を飼育してみますと、(上)のやうに白米病に罹りますが、これを七分搗米で飼育すると白米病に罹らないのみか元氣で成長發育もいゝです。(下)



信通外海

英艦隊沈没の 潜水艦運る

英軍艦隊スカバ、フロート
突入、英艦隊艦隊ロイヤル
イタリヤ艦隊、又運洋艦隊
リバルス艦隊に多大の損害を
與へたと傳へられる。英艦
の潜水艦艦隊(7)は、
去る十月十七日獨逸海軍艦隊
地に襲撃(2)し、一獨逸海軍
英艦となつた艦隊プリオン
大尉一行は十八日ベルリン
に到着してヒトラー總統に
戦果を報告、總統は大尉に
勳章の賞を與へ親しく鐵
十字章を授與した(3)。

ドイツに開かれた 對波攻撃展覽會

四週間にわたるドイツを席
捲したヘタドイツ機械化部
隊が破壊したドイツ軍
兵器の中には地下に隠匿さ
れた小銃、彈藥等もあり
(上)、その数はおびただ
しい程にのぼつたが、ドイ
ツ軍官はその一部をベル
リンに輸送し、戰爭勃發以
來はじめてのドイツ軍
由產品展覽會を開催して鉄
後人心によびかけた(下)。



會館展覽

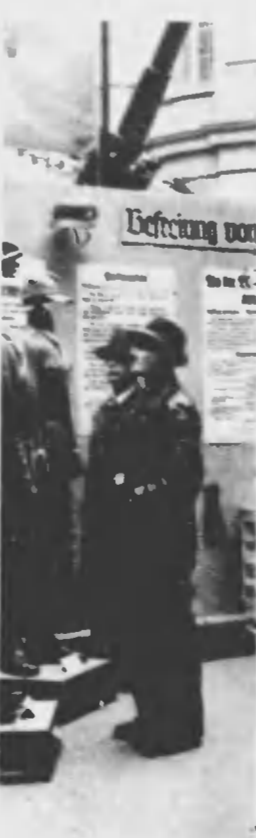


北歐四國中立的聲明

スウェーデン國王グスタフ五世の招請によるスウェー
デン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド北歐四ヶ
國元首會議は歐洲戰亂に對處すべき四ヶ國の態度を協議
するため、去る十月十八日からスウェーデン首都ストック
ホルムに開催され、會議後、北歐四ヶ國は今大戰爭に
對しては厳正中立並びに國家獨立を維持するの決意を共
同コミュニケにより發表した。
寫眞は同會議に空路フィンランドから参集したカリオ
同國王(左)と御出迎へのグスタフ・スウェーデン
國王(右)。

ソ聯・フィンランド關係緊張

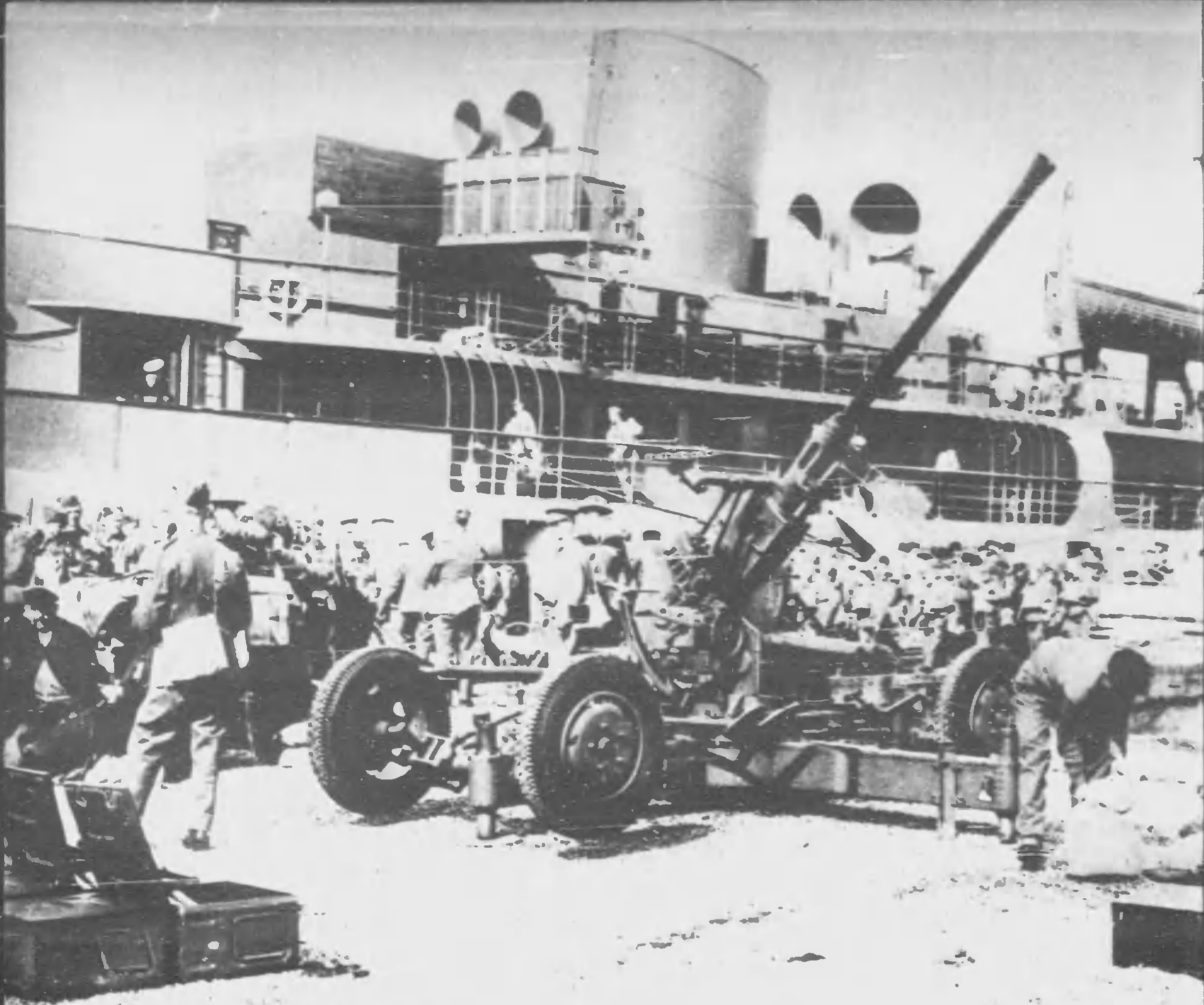
歐洲戰亂勃發以來、ドイツとの間にポーランドを
分別し、バルカンに進出する一方、エストニア、ラト
ヴィア、リトアニアのバルチック協約國とそれら
相互援助條約を締結してバルト海制覇にのりだした
ソ聯は、フィンランドにもそのオーランド島その他
の軍事的要衝の讓渡を要求したと傳へられるが、こ
れに對抗してフィンランドの對外士族決意が放
送され、ソ聯關係は緊迫状態をつけてゐる。寫眞
は最悪の事態に處して戦艦をすいめるフィンランド
が國境地域に構築した水城。



イタリーの自動車代用品

イタリーでも國民生活の各方面に連戦
時體制が強化されてゐるが、民間自動車
の相當数は強制徵用され、又ガソリンは
極度に制限された。そこで最近ローマの
街に登場してきたのは遠慮の通りのガソ
リンの要らない自動車、つまり大型のリ
ヤカーと自動車を一併にしたやうな乗物
で、六人乗、家族で仲よくベダルを踏み
踏み日曜日など郊外へ時局向ドライブと
洒落込めるわけである。





恒遠外海

冬ごもりに入る西部戦線

ドイツ對英佛戦争は長期戦の段階に入り、西部戦線は時折の小競合の他は驚愕ともいえない沈黙がつけられ、今や冷雨よりつくつく悪天候の裡に戦線は冬ごもりに入らうとしてゐる。
 寫眞は英佛軍側マキノ要塞線の近況。7カムフラージュされた國境附近上空を飛行するドイツ軍偵察機に向つて火を吐く高射砲。待つ機する佛空軍新鋭機撃機、第二戦と軍用犬で連絡、4モーゼル河をへたて、無降地をわらふ大口砲要塞砲。



英軍續々フランスに上陸

過般、ホア・ベリシヤ英陸相により、戦争勃發後五週間に英國軍隊のフランスに派遣された数は十五萬八千の多数に達したと發表された。又軍隊とともに送られた車輛數も二萬五千車に上り、中には十五トンの戦車多數も含まれてゐると。寫眞はフランス某地點に上陸、西部戦線に急ぐ英軍、中央には精巧を誇る高射砲關砲が陸揚げされてゐる。

ハリ市民の輸血奉仕

祖國の壯丁を西部戦線に送つたフランスでは、傷病兵のために戦後の輸血奉仕を募集してゐるが、ガスマスクを肩にしたハリ市民は各病院の輸血奉仕部によつて奉仕を申し出で、何ダラムづゝかの貴い血をそれく祖國に献納した。



在佛ポランド新政府閣議を開く

去る九月卅日パリに成立した亡命ポランド政府は十月十一日、はじめての閣議をセーム河畔にある小さいホテルの一室で開き、ピアニストとして有名な前ポランド愛國大統領パデレフスキ氏に援助を懇請した。なほ閣議後、ザレスキ外相は英國政府との間に協議を行ふべくロンドンに赴いた。寫眞は閣議記念撮影。



汕頭はもろ平通常り



ヒラ／＼と流れる赤土色の海、その向ふに汕頭の高層ビルがまはる。



汕頭の海でとれるカブトガニ

撮影 竹中 敏

南支那海の海水の色は紺青色の美しいものであるが汕頭近くになると海水が段々と赤土色になつてくる。港外にある犀嶼、母嶼の附近は海峡が狭くなつてゐる干満の時は海水が赤土色の奔流となつて流れてゐる。

汕頭の港の對岸は覺石といふ石の山で煙臺には英米の船會社の倉庫がズラリとならんでゐる。本年六月皇軍の敵前上陸の際にはこれ等の倉庫が作戦の妨害をしたものだつた。

市中は舗装された綺麗な街路に南支那特有の二階の張り出した家屋がズラリとならんでゐて、ところ／＼に大きなネムの木や鈴懸の木が緑蔭を作つてゐる。

市の東方には各國領事館があつて英米佛のセーラーが色とり／＼の姿で歩きまはつてゐるが西方は支那人街で商店街になつてゐる。そして北方は一般支那人の民家があるがこゝでは菓茶の家が海山見受けられる。

その繁栄は廈門に比すとも劣らぬ汕頭は南洋華僑の出身地であり、又これ等の華僑が故國に投資し又は文化的な交渉を持つた土地として立派なホテルが多い。

皇軍の上陸以前は南支における援府ルートの重要基地として汕頭は存在してゐたのであつたが、我軍の上陸以來南洋華僑は重慶政府の無能に愛想をつかして現在では廣東にある汪兆銘一派と連絡して新中央政府成立促進上重要な土地となつたのである。皇軍上陸當時市中にあつた日本文の落書きは抗日分子の仕業であつたが、一度皇軍上陸するや居残つた支那人は今までの抗日支那軍に對する反感や彼等の暴政に反撥し進んで皇軍に信頼占領當日すでに五色旗と日の丸の旗を振つて皇軍を歓迎した程であつた。

常夏の地、汕頭。潮州すでに我が軍の手中にあり南支のこの一帯は廣東、厦門と共に一丸となつて重要なわが南支作戦の基地ともなり新中央政府と華僑との橋にもなつてゐる。



はるか覺石を見る、こゝは汕頭が第二の香港たらしめんとして現在大規模な建設を遂げてゐる。



木の多い汕頭の町



汕頭の赤い土と支那人



海面上に天幕の日陰をひいてゐる汕頭の市場

